

**50<sup>th</sup>**  
ANNIVERSARY  
1970-2019

50周年記念誌

# RING OF SEIKO

PLUMBING / DUCT / ELECTRICAL / AIR CONDITIONING / TEMPORARY STAFFING



CONTENTS/ 2-3 : トップメッセージ / 4-5 : 沿革 / 6-7 : 設立50周年記念全社大会 セイコーカップ /  
8-12 : 事業所 グループ会社紹介 / 12 : 数字で見るセイコーグループ

発行元：セイコーグループ 女子会発行 第12号 2019年10月発行



# Message from TOP to employee

社長から社員へのメッセージ

## 50周年を迎えて

### 自尊を尊ぶ

経営理念“自尊他尊”は、34歳社長就任時に私が創った造語です。就任当時は、自分自身、家族、そして少人数の社員とその家族の為に突っ走ってきたわけですが、「まずは優先して自分自身を全てにおいて高めて磨き、自信と経験、信用などを掴み、余裕が生まれれば他者のこと、周囲や世の中のことを真摯に考えることができる人間になって欲しい」と考え、経営理念としました。

50周年を迎える現在、会社の業績拡大、安定と共に、社員とその家族の為に、世の中の為にという思いが強く沸きあがっています。社員全員で共有して、私自身もこの理念を実践しながら経営しているので、社員である限りは“自尊”から“他尊”へと成長して欲しいと思っています。

“自分の為に”は当然ありますが、“他者の為に”社会貢献も然りですし、社員にも、もっともっと幸せになってもらいたい。将来、「この会社で働けてよかった」と思ってもらえるような会社になりたいというのが、ここ数年、強くなってきた自分の正直な気持ちです。



### セイコーグループ

- ・株式会社清弘エンジニアリング
- ・株式会社セイコーエージェント
- ・株式会社セイコーエレクトリック
- ・株式会社セイコーメンテナンス
- ・株式会社セイコースマイル
- ・有限会社上越プラント
- ・清弘機電技術工程(上海)有限公司

代表取締役 **井畑 忠**  
Tadashi Ibata

### ともに闘い、生まれた“絆”

セイコーグループの強みは、私を筆頭に皆「仕事が好き」というところと、チームワークが良く、力を合わせて仕事に取り組んでいるところではないでしょうか。多種交流会や慰安旅行など社員の交流の場を作り、私自身も楽しんでいるのですが、社員同士の意思疎通がスムーズにいくように、また皆に日々の仕事を忘れて楽しんでもらえるよう企画をしています。それが、私が見る限りは非常に雰囲気の良い、

全員で頑張れる組織力に繋がっていると感じます。

また、ビジネスモデルとして数多くの大手企業様と直接お取引ができ、基本的には下請はしないというスタンス、そして「もう一度この社員たちを集めることは皆無」と思える程、私にとっては必要不可欠な財産であるセイコーグループ全社員は、どこにも負けない“絶対的な自信のある強み”です。

### 変えていくものと、変えてはいけないもの

業績拡大に伴って、社員も急増しており、会社組織としての仕組みやルール策定、コンプライアンス問題等、さらに上を目指すための整備の必要性を感じています。ただ、

大企業病にはしたくないので、今まで零細企業からやってきた良い部分を残しながら、最良の企業作りを目指したいと考えています。

# Message from CHAIRMAN

会長メッセージ

会長  
**井畑 充弘**  
Atsuhiko Ibata



## 大切な人との出会い、そして創業へ

私は京都のお寺の4人兄弟の長男として生まれました。「人生は一度、自分の思い切ったことをしなさい」と言ってくれる両親の元で育ちましたので、チャレンジ精神は旺盛で起業したいという思いを持っていました。初めは大阪で勤めていましたが、東京転動後に特殊な小型モーターを扱う栗田電機製作所の阿子島さんと出会ったことが創業に繋がりました。創業時から下請をせず、大手企業と直接取引できる提案型企業になるという強い信念を持っていました。

### 出合いを重ねて50年

「建設は死闘、崩壊は一瞬」という言葉があるように、事業を継続することは尊い事です。

私一人の力には限りがあるので、人との出合いを広げ人の長所を活かしてきました。そうすることで人が人を呼んで組織が大きくなってきたのだと思います。

50年の中で一番心に残っていることは、やはり失敗です。昭和57年(1982年)、これからの技術発展に備えて京都市の烏丸に環境事業部を起し、クリーンシステム、CO2チャンパー等の開発を産学交流で行いましたが、時代は10年早く、願はず会社体力を失くしてしまいました。しかし、そこで得た経験、人との出合いを大きなエネルギー源に変えてきました。

### “礼に始まり礼に終わる”

創業当時の経営理念「礼儀・作法・区別(けじめ)」は自分に言い聞かせていた言葉です。

人の生き方として一番大切にしなければならないことは「礼に始まり礼に終わる」。その思いを経営理念にしました。

### これからの 清弘エンジニアリングへの想い

人は財産です。社員を大事にして長所を活かし、個性ある私欲の無い公の会社へステップバイステップで、次の100年に向かって成長してほしいです。

### 『トリプル50』は通過点

40代半ば(当時年商20億円)で、高く目標を掲げ、行けるところまで行ってみよう、自分に課したノルマである「50周年50歳50億」は、「社員と共に挑戦・達成を」と、折に触れて発信しているうちに、社員の中にも合言葉のようになっていきました。そして50億を大幅に超え、年商約60億もの事業規模になった現在、頼もしい社員達と共に、この高い目標をクリアできたことを非常に嬉しく思っています。



### 先へ、先へ

100年継続企業、100億企業を目指さないといけないとは思いますが、それ以上に50歳を迎えた今、自分がしっかり働ける時間が限られてきたなかで“夢”を追うというよりは、「自分はどこまでできるだろう」「この会社はどこまで伸びるだろう」という“自分試しの旅”にまだまだ出ていきたいと

考えています。現在の社員やこれから集まって来てくれる社員達と一步一步実現していきたい。そして自分が引退する時に、「素晴らしい会社になりましたね。」「すごい会社を作りましたね。」と言ってもらえるような企業へと、皆と一緒に挑んでいきたいと思っています。



# Company history



清弘エンジニアリングの前身となる産業用ファンの販売代理店を起こす



創業当時の井畑充弘会長

● 清弘換気創業



京都本社 (京都市伏見区)

● 清弘換気(株)設立  
井畑充弘が代表取締役に就任



● 東京営業所開設



● 京都烏丸営業所開設  
環境事業部発足



1985年  
東京エンジニアリングショー出展



井畑忠が代表取締役に就任  
本社を滋賀に移転  
京都支社開設



● 京都本社 新社屋完成  
(京都市伏見区)

● 関東支社開設



設立40周年を迎えて滋賀社屋前で

● 本社を京都に移転  
滋賀支社開設



東京支社開設  
● (株)セイコーエージェント  
東京支店開設



● 京都支社移転 自社ビル購入  
(京都市南区 現在の京都本社)

● 大阪営業所開設  
福岡営業所開設



● (株)セイコーエージェント設立

● 名古屋営業所  
開設

● 設立50周年



2020

2018 2019

2016 2017

2015

2013 2014

2007 2011 2012

2005

2003

2001

1992 1993

1982 1989

1977 1980

1970

1968



入社当時の井畑社長(後方)



● 清弘空調設備(上海)有限公司設立

2002年 KES ステップ1  
環境マネジメントシステム取得



環境改善・保全への取り組みが評価される  
のち 2011年 KES ステップ2 取得

● (株)清弘エンジニアリングに  
社名変更

● 滋賀工場新社屋完成  
(滋賀県栗東市)



1996年平成不況により会社規模を  
縮小し滋賀県に拠点を移す  
再出発当時のメンバー

2012年 レッツ原価管理 Go!  
導入説明会



設立45周年、上海設立10周年記念  
琵琶湖ミシガン賞切クルーズ



● (株)エーシーメンテナンスを  
事業継承(現 埼玉営業所)



● スミダ工業(株)を事業継承  
(現 (株)セイコースミダ)



● 東西電設(株)を事業継承  
(現 (株)セイコーエレクトリック)



2018年  
オスカー認定取得



優れた事業計画により積極的に  
経営革新に取り組む企業として  
認定される

設立50周年記念社員旅行  
ラスベガス



● (有)上越プラントを事業継承



● 上海2社を吸収合併し  
清弘機電技術工程(上海)  
有限公司へ 社名変更

● (株)セイコーメンテナンスの  
空調事業を吸収統合し  
埼玉営業所開設

● 新潟営業所開設



2019年4月16日(火)設立50周年記念全社大会が滋賀県草津市のホテルボストンプラザ草津で行われ、全国からセイコーグループ社員が参加しました。



# 設立50周年記念全社大会

大会に先立ち「50周年 会社経営の軌跡」と題し、井畑充弘会長から人生を変えた人との出会い、創業時の思い出が語られ、引き続き井畑忠社長からは入社から今日まで、時代の変化に翻弄されながらもその時々で決断で着実に事業を拡大し続けた歩み、そしてこれからのセイコーグループの展望が語られました。

## ロゴマークに込められた思い

地球儀マークには経営方針の「顧客第一」「創造」「社会貢献」、経営理念である「自尊他尊」が描かれていることや会社のグローバルな発展を願う思いが込められているという説明があり、参加した社員らは井畑社長の話に真剣に耳を傾けていました。



女子会でされた昼食会

その後、井畑弘取締役から49期の業績報告、井畑社長と16事業所長から今期の事業計画発表があり午前の部を終了。午後から行われた安全会議では、勤務中の交通事故が会社と本人に与える重大な影響についての交通安全教育と、工事現場の衛生管理の基本についてセイコーグループの構内作業の心得を中心とした講義が行われました。



真剣なまなざしを向ける社員達  
50年という歴史の重みを受け止めていた

ポジティブ思考で良好な人間関係を外部の講師を招いた講演会は、株式会社小倉広事務所の代表取締役 小倉広氏による「アドラーに学ぶコミュニケーションの心理学」で、人生の課題はすべて対人関係

の課題であると語ったアルフレッド・アドラーの心理学をビジネスでのコミュニケーションに応用したもの。心理学を活用し職場で良好な人間関係を築くための手法を、隣の席の人と2人1組になりロールプレイングスタイルで学びました。

夕方から行われた懇親会では、会社設立当時のことをよく知る社員らが当時の思い出話に花を咲かせたり、資格取得者への報奨金授与式や豪華景品が当たる趣向を凝らした抽選会があり会場は大盛り上がりとなりました。



笑いと涙が溢れる盛大な懇親会の最後は、全社員で円陣を組み心をひとつにして締めくくられた

第2回  
セイコーカップ  
予選会

## THE 2ND SEIKO CUP



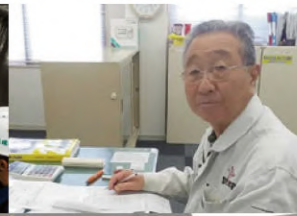
4月17日(水) 大津カントリークラブ西コースにて第2回セイコーカップ予選会が行われました。桜の花びらが舞う心地の良い陽気で、初心者からベテランまで総勢59名が参加、上位16位までが出場できる決勝大会をかけた大勝負に挑みました。決勝大会は10月に有馬温泉で行われます。



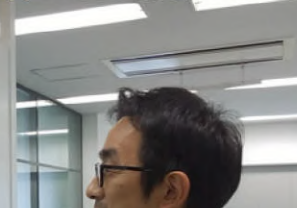
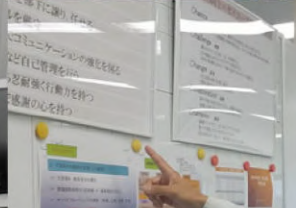
株式会社  
清弘エンジニアリング



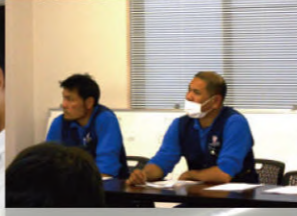
経営企画室



東京支社



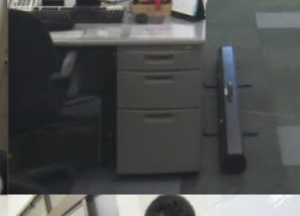
設計部



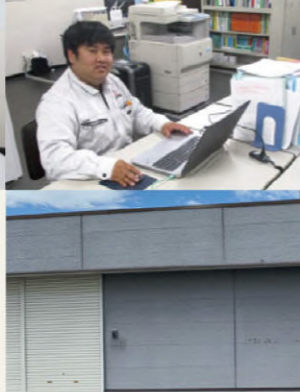
京都本社



埼玉営業所



大阪営業所





株式会社  
清弘エンジニアリング



株式会社  
セイコーエージェント



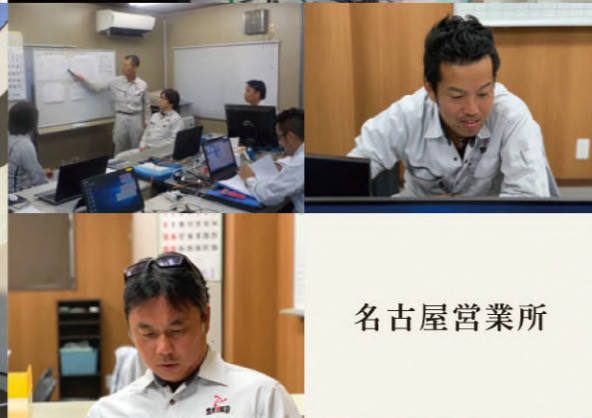
滋賀支社



株式会社  
セイコースミダ



福岡営業所



名古屋営業所



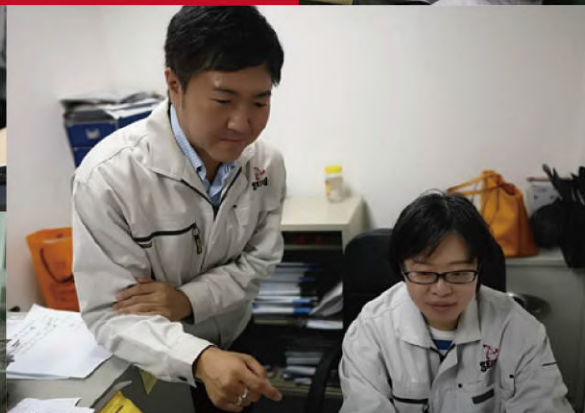
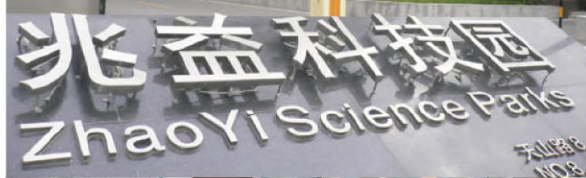
株式会社  
セイコーエレクトリック



有限会社  
上越プラント

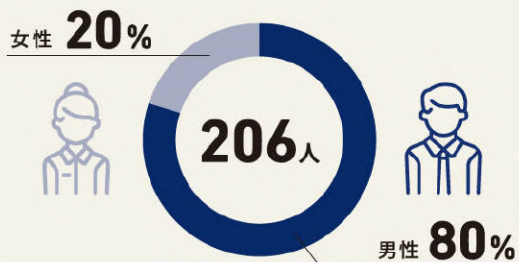


清弘機電技術工程(上海)  
有限公司

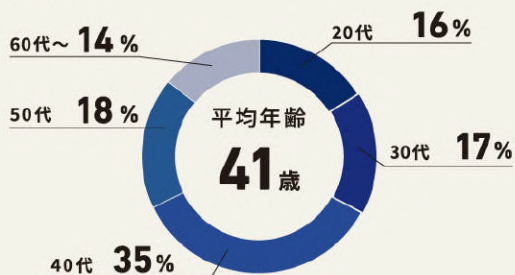


### 数字で見るセイコーグループ

#### 社員人数



#### 年齢分布



#### 血液型



#### 実務経験年数

